

本 時 案 (第 2 次 1 / 5)

1 主 眼

- ・ 1/8ピザを 8 枚以上集めたときの大きさを表す方法として仮分数を理解する。

2 準 備

色画紙で作った半径 5 センチの円 (8 等分してきたもの)、それを貼る台紙 (クラス人数分)

3 学習の展開

学習活動・学習内容	T 1 の働きかけ	T 2 の働きかけ
<p>1 1/8ピザじゃんけん争奪戦のルールを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 分間じゃんけん ・ 手持ち1/8ピザ 8 枚 ・ 1/8ピザの争奪 ・ ピザの多い人の勝ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 等分されたピザの 1 枚を見せて、いくつで 1 つの円になるかを連想させて、仮分数や帯分数につながる 1 という大きさを大切にす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲームのおもしろさに引きつけるために、T1とゲームの演技をしていく。
<p>1/8ピザをどれだけとれるかな</p>		
<p>2 ゲームをしてとった1/8ピザを画用紙に貼り、それを黒板に貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5/8ピザ ・ 3/8ピザ ・ 1 と 3/8ピザ ・ 1/8ピザが 枚 <p>3 1 を規準にしてそれより大きいものと小さいものに分けて大きい順に貼りかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 順位の決定 <p>4 . 8/8ピザより大きいものを数で表すように話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 と 4 / 8 ・ 14 / 8 ・ 12 ・ 帯分数 ・ 仮分数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の勝ち取った1/8ピザを貼った並びから、一人一人のピザの数え方を把握し、分数で表す根拠となっている子どもの考えを見取る。 ・ 大きさ比べをする子どもたちのつぶやきから単位分数での比較がよいことを取り上げていく。 ・ 帯分数や仮分数の考えに近い子どもの考えを取り上げて、価値づけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 獲得して台紙に貼ったピザを黒板に貼りに来る子に対して、「誰のと同じなのか」を働きかけていき、同じ数でも貼り方に違いがあることに気づかせる。 ・ 大きさ比べでどこに貼っていけばよいか分からない子の相談に乗りながら、単位分数のいくつ分の見方を押さえていく。 ・ 12/8を8/12としたり14/8と考えたりする子どもに対し、1/8ピザを数える活動を繰り返し、単位分数のいくつ分ということと結びつけて理解させていく。
<p>評 [考] (1/8ピザを 8 枚以上集めたときの大きさを表す方法として分数表記を生かして考える。) 12/8を12/16とする児童には、1 枚以上なのに、それより小さくなっていることを絵に表して気づかせていく。</p>		
<p>5 . 自分のピザの数や上位 5 つの数を仮分数で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のピザの数 ・ 仮分数の適用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮分数で表しながら、そのよさについて引き出していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮分数で表しきれない子に対して、ピザの操作でもう一度分母と分子の数を確認していく。